

事業所における自己評価表（公表）

| | 清水高部スクエア児童発達支援トロフィー | 公表日 令和7年年 4 月 1 日 | | | | | |
|----|---|-------------------|-----------|-----|-------|---|--|
| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 意見 | 工夫しているところ・課題や改善すべき点 |
| 1 | 事業所の設備等について利用者に合わせたバリアフリー等の配慮や定員に対して適切なスペースがとれていますか | 7 | | | | 広いスペースが確保出来ている | |
| 2 | 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保していますか | 4 | 3 | | | ・前田ドクターの勉強会に参加し、参考にさせていただいている。 ・対象者にあわせての研修は取り組まれていたが、支援につながる研修が、自己研鑽出きる自主研修等も職員からの発信する場があると | 社内・社外研修の案内は定期的に行っているが、支援時間と研修時間が重なることも多くあるため、今後研修参加の機会を増やせるよう時間管理が容易なeラーニング研修を新たに取り入れていく。 |
| 3 | 業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画できていますか | 4 | 2 | 1 | | ・できる時間にいる職員で取り組んでいる。 | 第三者(執行部・マネージャー)に入ってもらい、日々の作業などを観察してもらうなどして時間の使い方の助言を受け改善につなげる。 |
| 4 | アセスメントを適切に行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画が作成できていますか | 5 | 1 | | 1 | | |
| 5 | 活動プログラムの立案をチームで行っていますか | 6 | | | 1 | | |
| 6 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善に繋がられていますか | 5 | 1 | 1 | | | 記録をとる際の視点、書き方が人によりばらつきが出ない為に、現在の記録における問題点を整理しOJT・OFFJTの両面から改善できるように検討していく。 |
| 7 | 日ごろから子どもの状況を保護者様と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもって支援を行えていますか | 5 | 2 | | | 役割を果たせるよう努めている | |
| 8 | 支援の内容やお子様の日々の様子について丁寧な説明を行っていますか | 7 | | | | | |
| 9 | 保護者様からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ丁寧な対応をしていますか | 6 | 1 | | | 傾聴に努め、一役をになえたらと努めている | |
| 10 | 保護者様に対しての言葉遣いや言い方の配慮は適切に行っていますか | 7 | | | | | |
| 11 | 個人情報の取扱いに十分注意をしていますか | 6 | 1 | | | 注意をして行っている。ミスが起こらないためにさらに徹底を続けたい。 | 個人情報誓約書の締結を全職員と行い、役職者会議の中で定期的に議題として提起し個人情報の扱い方について改善をはかる。定期的にマネージャーによる抜き打ちの管理体制チェック、職員からの聞き取りを実施し日々改善に努めている。 |
| 12 | 事業所内での体調の変化やケガ・外傷があった時に適切な対応と保護者様への報告をしていますか | 7 | | | | | |
| 13 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出そのほか必要な訓練を行っていますか | 5 | 2 | | | | 総合防災訓練以外にも放課後等デイとの合同訓練、活動の中でできる訓練について可能な方法等を考え見直しをしている。 |
| 14 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を保持する等、適切な対応を行っていますか | 5 | 2 | | | 振り返りや支援の場で、互いに考えき付けていけるように取り組んではいる。 | 月例の児発管会議の中で虐待防止についての取り組みの報告を行い危機意識が薄れない様に意識している。定期的に事業所外の職員に支援に入ってもらい、客観的意見を聞くとともに現場での思い込みの不適切支援にならないような環境づくりから虐待が起こらない風土づくりに努めている |
| 15 | ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有できていますか | 7 | | | | | |